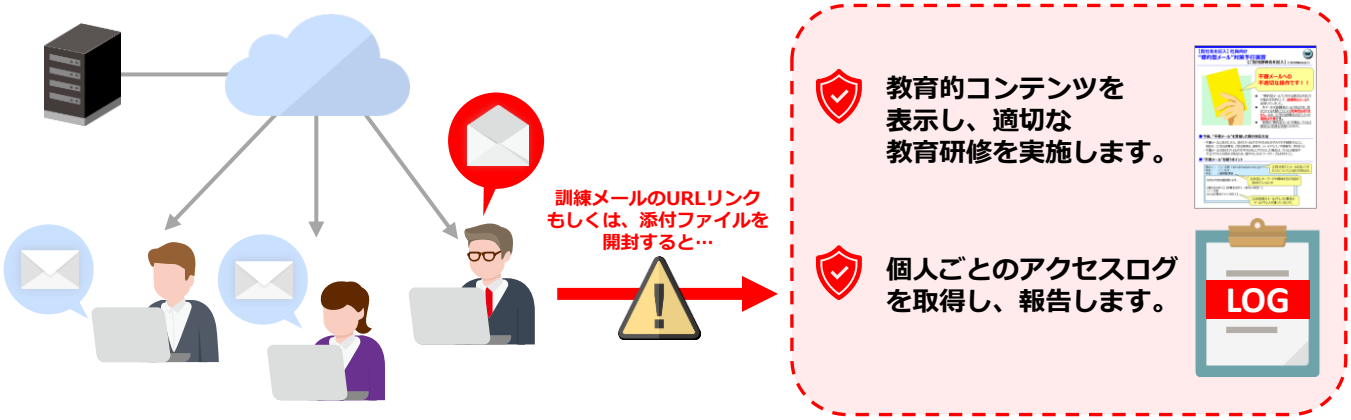
HITACHI
Inspire the Next

標的型メール訓練サービス

「標的型メール」は、アンチウイルスなどの技術的な対策を実施しても防ぐことが難しいのが現状です。そのため、ユーザー一人ひとりが標的型メールに気をつけることはもちろん、万が一攻撃メールの添付ファイルなどを開いてしまった場合でも適切な対処を迅速にできるよう訓練しておくことが重要です。

日立ソリューションズの標的型メール訓練サービスとは

お客さまの会社にて標的型メール攻撃を疑似体験いただきます。誤ってメールを開封したユーザーには教育コンテンツを指示し、適切な研修を実施します。また、メール開封状況など結果を報告書でご提供することで、セキュリティの向上に役立てていただけます。



標的型メール訓練サービスの効果

攻撃メールへのリスクレベルを評価し、把握

実際に、どの程度のユーザーが攻撃メールを開封してしまうか、現状のリスクレベルを調査し、把握できます。

ユーザー端末のマルウェア感染率を大幅低減

継続的に、あるいは複数回メール訓練をすることで、攻撃メールの開封率を下げることができ、感染率を低減します。

感染時の初動対応を徹底し、被害を最小化

適切な初動対応が取れるよう訓練することで、ユーザーが攻撃メールを誤って開封してしまった場合でも、被害を最小化します。

株式会社 日立ソリューションズ

導入ステップ

STEP 1 訓練方法の検討

STEP 2 事前教育の実施

STEP 3 事前準備
- メールコンテンツ決定
- 教育コンテンツ決定
- 訓練対象者の決定
- 事前テストの実施

STEP 4 訓練実施

STEP 5 アンケート実施

STEP 6 結果報告

ご発注後 3~4週間

STEP 1~3
訓練方法の検討~事前準備

- 訓練目的決定、設計
- 訓練メール内容の決定
- 開封時コンテンツの決定
- 訓練対象者の決定

- 事前テスト対象者の決定
- 訓練メールのホワイトリスト登録
- 送信事前テストの実施
  (訓練内容の最終決定)

STEP 4~5
訓練実施~アンケート実施

- 訓練用メール を送信、開封状況の取得
- 後日種明かし(訓練終了通知)と同時に
  Webアンケートへの回答を呼びかけ

STEP 6
結果報告

- Webアンケート締切後、
  約2週間で報告書をご納品

おすすめポイント

小規模から大規模ユーザーまで対応可能

お客さまのユーザー数に合ったメニューを選択できるので、
コストを抑えて、標的型メール訓練を実施することができます。

訓練内容をカスタマイズ可能

訓練メールの分散送信、メールや教育コンテンツの修正、アンケートの
未実施など内容をカスタマイズ可能です。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報
https://www.hitachi-solutions.co.jp/security/sp/solution/task/targeted_email_attack.html